



2012年3月期 決算説明会

2つの分野で、
ぜんりよく、山善。

2012年5月30日



株式会社 **山善**

代表取締役社長(CEO) 吉居 亨

- I. 2012年3月期(第66期)決算概要
- II. 中期経営計画「VISTA-3S」の進捗
- III. 2013年3月期(第67期)業績予想
- IV. 株主還元



I. 2012年3月期(第66期)決算概要

1. 2012年3月期(第66期)連結損益実績
2. 経常利益の増減要因
3. 部門別概況
4. 貸借対照表(連結)
5. 財務の状況、キャッシュフロー
6. 主要トピックス



2012年3月期(第66期)連結損益実績①

■ 連結損益計算書

(単位:百万円)	2011年3月期 (第65期)	2012年3月期 (第66期)	増減率 %	公表計画 (修正分)	計 画 対 比 %
売 上 高	323,703	372,830	15.2	358,000	104.1
売上総利益 (総利益率)	39,992 (12.4%)	47,571 (12.8%)	19.0 (+0.4)	—	—
販売管理費	32,576	37,043	13.7	—	—
営業利益	7,415	10,528	42.0	9,300	113.2
経常利益	7,623	11,155	46.3	9,800	113.8
特別利益	103	7	△92.4	—	—
特別損失	951	2,633	176.8	—	—
当期純利益	4,363	4,933	13.1	5,700	86.5

➤ 国内外の設備需要が緩やかに回復。節電需要でコンシューマ向けも伸展。

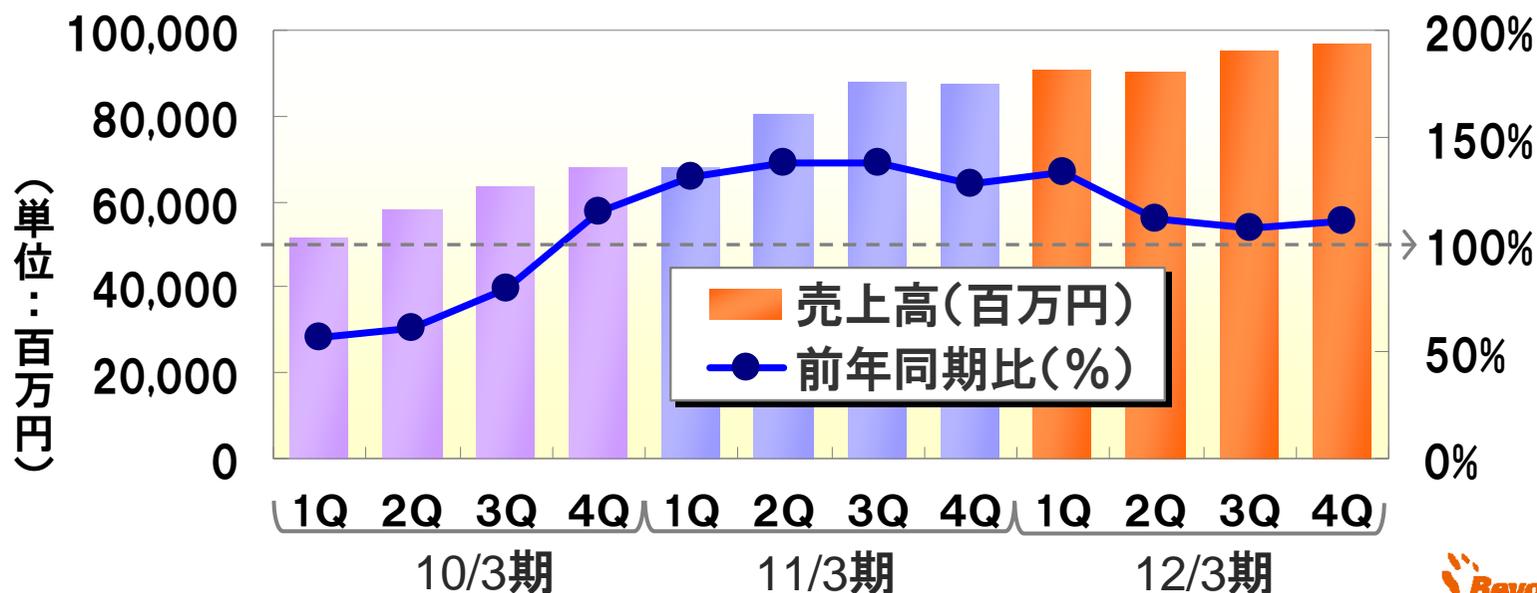




2012年3月期(第66期)連結損益実績②

■ 四半期推移

(単位:百万円)	1Q 2011 4-6	2Q 2011 7-9	3Q 2011 10-12	4Q 2012 1-3
売上高	90,969	90,043	94,970	96,846
営業利益	2,817	2,558	2,881	2,270
経常利益	2,940	2,635	3,085	2,494
当期純利益	1,816	1,493	1,747	△ 123





2012年3月期(第66期)連結損益実績③

■ 部門別売上高／公表計画対比

(単位:百万円、%)	2011年3月期 (第65期)	2012年3月期 (第66期)	前期比 増減率	公表計画 (修正分)	計画 対比
工作機械部門	39,583	51,495	30.1	47,000	109.6
産業システム部門	47,644	53,676	12.7	52,000	103.2
機械工具部門	48,172	53,835	11.8	52,000	103.5
(国内生産財計)	135,400	159,006	17.4	151,000	105.3
住設建材部門	50,645	50,519	△0.2	52,500	96.2
家庭機器部門	60,455	77,104	27.5	72,500	106.4
(消費財部門計)	111,101	127,623	14.9	125,000	102.1
国際営業部門	73,697	79,950	8.5	76,300	104.7
(海外生産財計)	73,697	79,950	8.5	76,300	104.7
その他部門	3,504	6,249	78.3	5,700	109.6
合計	323,703	372,830	15.2	358,000	104.1

経常利益の増減要因

(単位:百万円)

2011年3月期

7,623百万円

売上総利益増加
(増益要因)

7,579

販管費増加
(減益要因)

4,467

営業外収支
(増益要因)

420

2012年3月期

11,155百万円

前期比 +3,532百万円

国内生産財	2,160
家庭機器	3,017
国際(海外生産財)	1,980
その他の増加	420

人件費関係	2,280
運賃	802
賃借・保管料	593
支払手数料	224
旅費交通費	141
その他の増加	424

デリバティブ評価損益差	384
受取利息増加	97
支払利息増加	▲240
その他営業外収支差	178

※参考情報 ①デリバティブ評価損益:前期50百万円の評価損に対して、今期333百万円の評価益となり、収支合計で384百万円のプラス

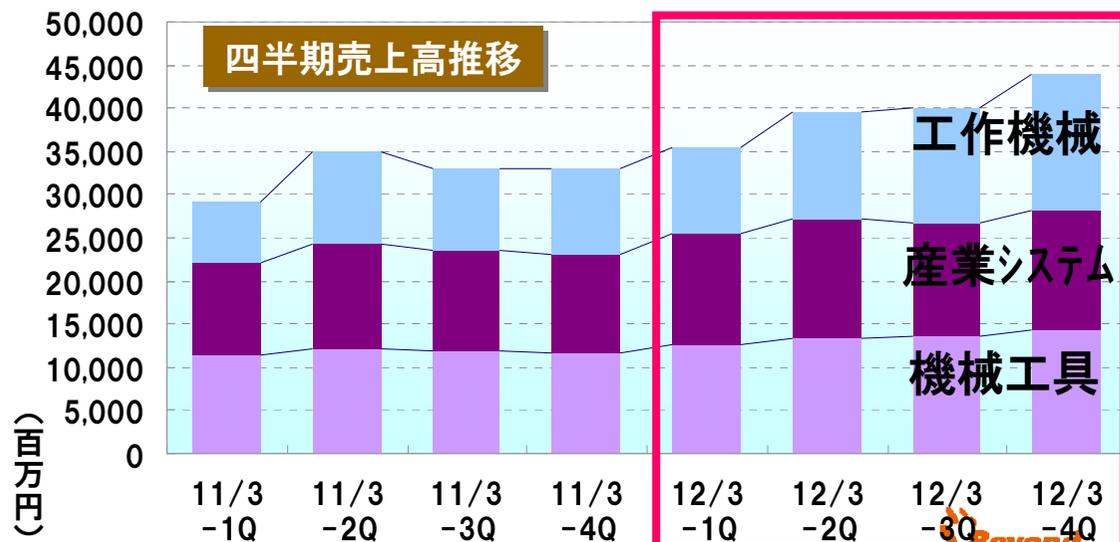
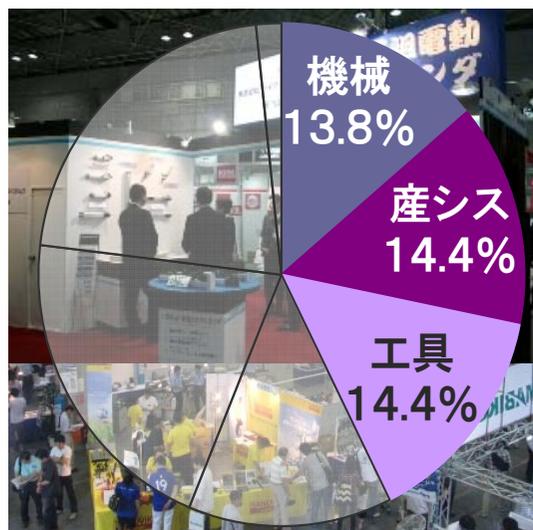
②新規連結及び中国子会社の決算期統一による経常利益への影響額:250百万円のプラス



部門別概況①:国内生産財事業(機械・産業システム・工具)

(単位:百万円、%)	2011年3月期(第65期)		2012年3月期(第66期)		
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	利益率
工作機械部門	39,583	877	51,495	1,688	3.3%
産業システム部門	47,644	875	53,676	1,204	2.2%
機械工具部門	48,172	984	53,835	1,283	2.4%
(国内生産財計)	135,400	2,737	159,006	4,176	2.6%

- 自動車等の生産復旧により工場稼働率が上昇、設備投資は緩やかに回復。
- 国内工作機械の年間受注が500億円を回復、切削・補要分野も二桁増。

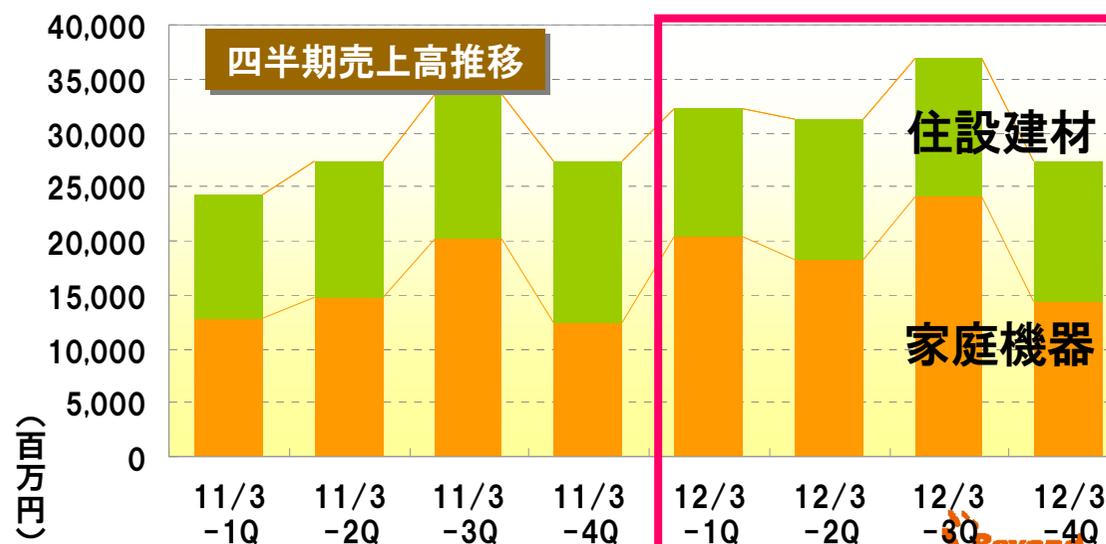




部門別概況②：消費財事業(住設建材・家庭機器)

(単位:百万円、%)	2011年3月期(第65期)		2012年3月期(第66期)		
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	利益率
住設建材部門	50,645	1,357	50,519	1,118	2.2%
家庭機器部門	60,455	2,232	77,104	3,570	4.6%
(消費財部門計)	111,101	3,589	127,623	4,688	3.7%

- 住設建材部門は、ガス機器の取扱いが好調で全体を下支え。
- 家庭機器部門は、節電・防災・地デジ化需要を背景に、売上高は過去最高を更新<7期連続>。

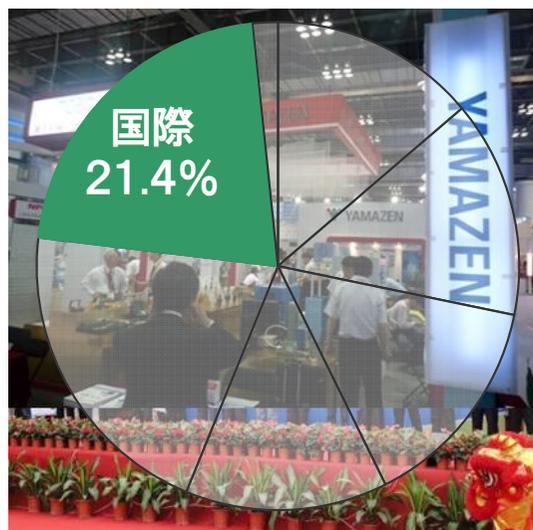




部門別概況③：海外生産財事業(国際本部)

(単位:百万円、%)	2011年3月期(第65期)		2012年3月期(第66期)		
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	利益率
国際営業部門	73,697	3,634	79,950	3,919	4.9%
(海外生産財計)	73,697	3,634	79,950	3,919	4.9%

- 四輪(北米)や二輪(ASEAN)の生産好調、グレーターチャイナでの設備需要も堅調に推移。
 - 中国での景気減速、震災やタイ洪水、さらには円高など、厳しさ増す競争環境の中にあつて、営業基盤を底上げし、增收増益。<2期連続>



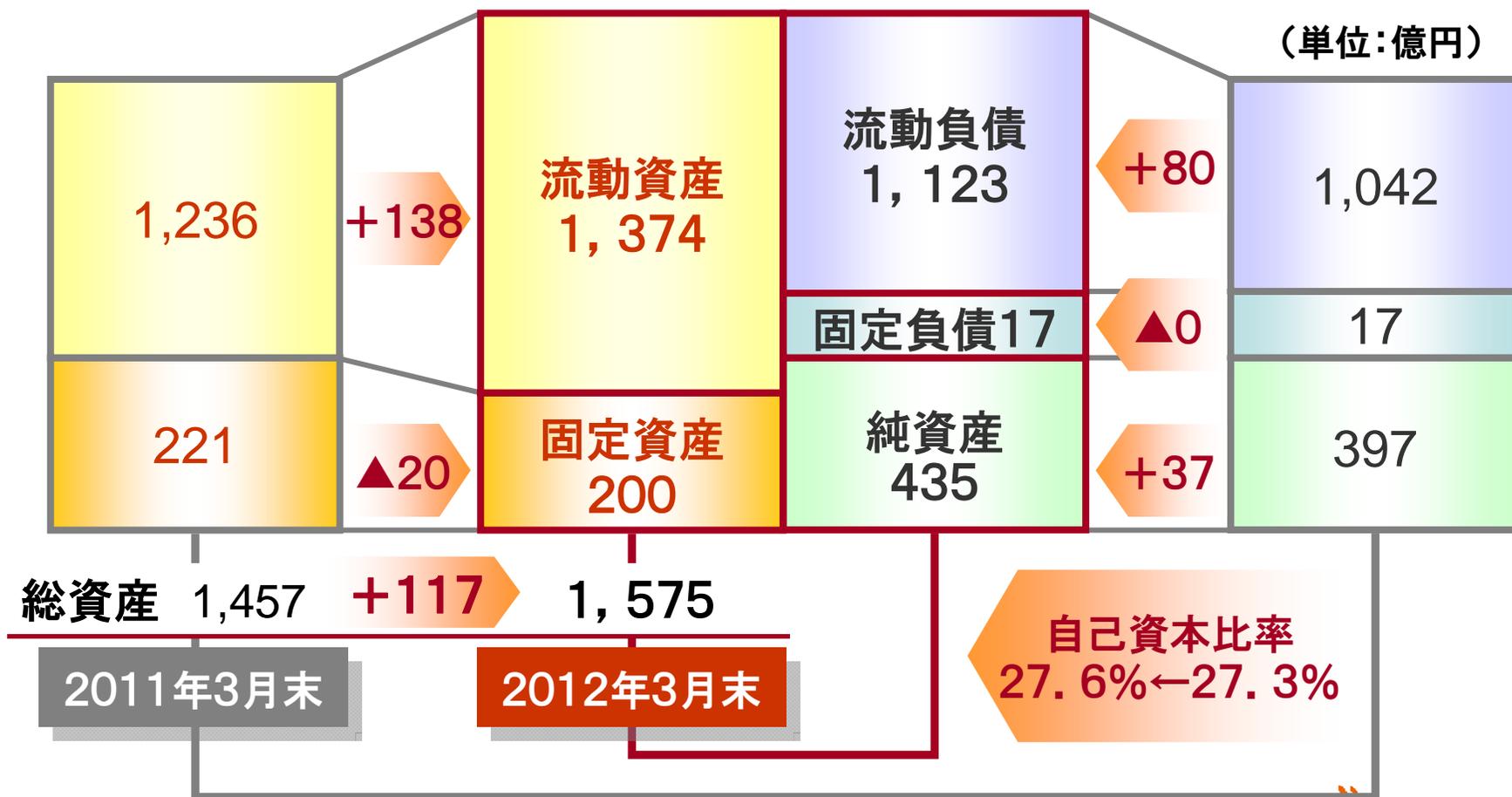


貸借対照表(連結)

➤ 売上債権／仕入債務増加などで、総資産は増加。

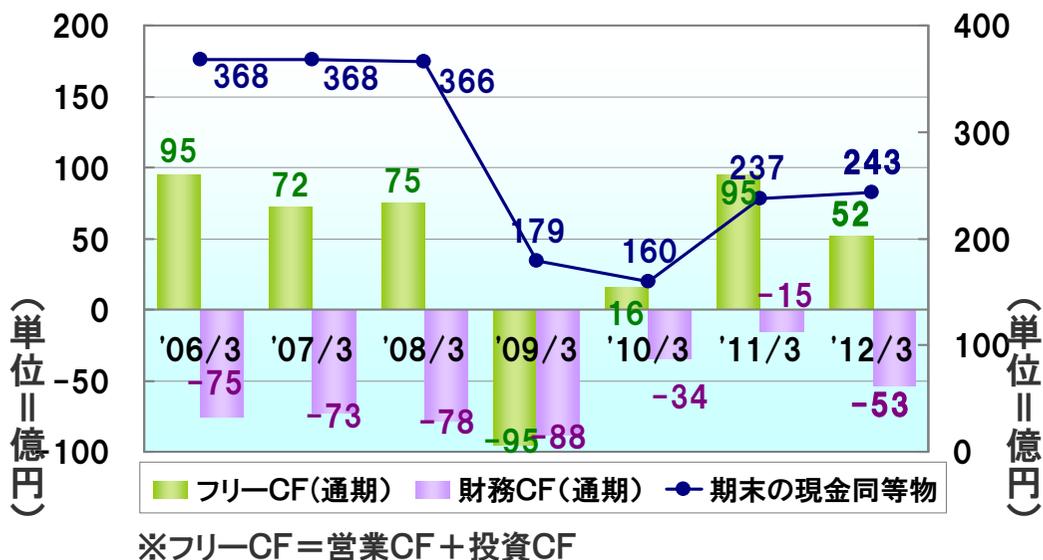
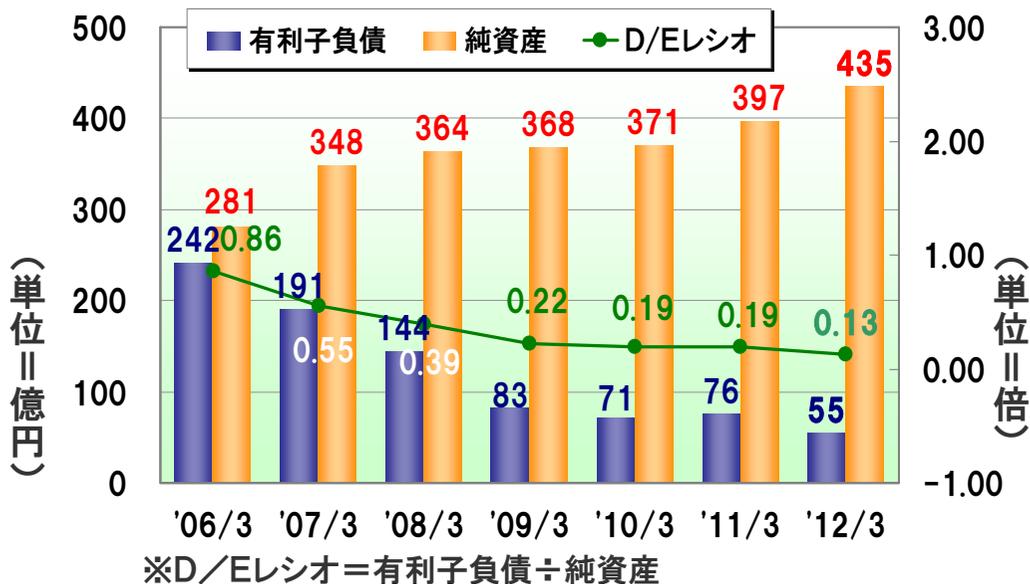
資産の部

負債・総資産の部





財務の状況、キャッシュフロー



<売買収支差>

(単位: 百万円)

受取手形	25,480	① 売上 債権	92,861
売掛金	67,381		
支払手形	48,766	② 仕入 債務	94,504
買掛金	45,738		
③ 売買収支(① - ②)			△1,643
現金・預金	24,398	④ ネット キャッシュ	18,887
借入金	5,511		
⑤ ネット収支差(③ + ④)			17,244

➤ 現預金を加味したネットキャッシュもプラスで実質無借金を継続。



主要トピックス①:減損損失

- 事務所不動産(東京・名古屋・仙台)の見直しを実施。

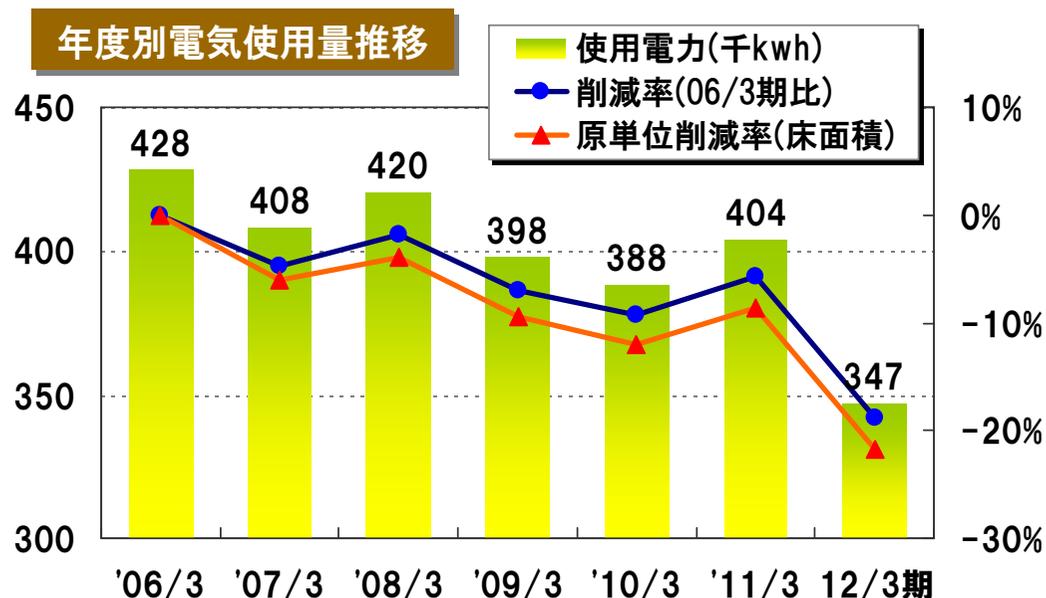
場所	用途	内容	種類	金額(百万円)
東京本社 	事業用資産	売却	建物・構築物 ^他	783
			土地	1,647
	小 計			2,431
名古屋支社 	事業用資産	除却	建物・構築物	62
仙台支店 	事業用資産	売却	建物・構築物	21
合 計				2,515



主要トピックス②: 節電実績

➤ 使用量前年比14%削減、
節電要請時期比較では
前年同期比21%を削減

- ⇒ エレベーターの使用制限、
蛍光灯の間引きを実施
(全1,617本)
- ⇒ ガスヒーポン(都市ガス使用による高効率ヒートポンプエアコン)設備導入(大阪本社第2ビル)



項目	大阪	東日本	名古屋	九州	広島	全社
2011年度 使用実績(千kwh)	1,507	1,281	354	195	131	3,471
2010年度 使用実績(千kwh)	1,831	1,477	387	213	127	4,038
削減率(年間)	▲17.7%	▲13.3%	▲8.5%	▲8.3%	3.2%	▲14.0%
削減率(7-9月要請時期)	▲27.7%	▲19.4%	▲8.5%	▲2.5%	▲4.4%	▲21.1%

Ⅱ. 中期経営計画の進捗

1. ビジョン、中期的経営方針
2. 「VISTA-3S」で目指すもの
3. 「VISTA-3S」の戦略テーマと進捗
4. 「VISTA-3S」3カ年定量計画(連結)



ビジョン、中期的経営方針



ものづくりに貢献し、快適な生活空間を提供する存在感ある専門商社へ！





「VISTA-3S」で目指すもの



3つのテーマ、 10のアクション。

1 S 世界力	質重視による Custmor Delightへ	国内外の顧客に、ボーダレスでワンストップなソリューションを実現します。	生産 国際	2 S 専門力	流通での イニシアティブ	工作機械/内外需受注のトップシェアを狙います。	生産 国際
	特性を活かす	エンジニアリング機能と拠点網を充実させ、「質」の高いサービスを築きます。	生産 国際			機械周辺機器で国内No. 1の取扱シェアを目指します。	生産
		商社/ファブレス企業という特性を活かし、海外での新市場開拓と商品開発を進めます。	国際 家機			コンシューマ分野でPB商品のカテゴリリーNo.1へ。主要取引先のインスタシェア3%を狙います。	家機
3 S 組織力	マーケット・ インへ	国内外とも、高いスキルとノウハウを兼ね備えた人材の育成と、それを支援するITインフラの整備を進めます。	ネット拡大		BtoB & BtoC共に、ネットの取扱高を倍増させます。	生産 家機	
		マーケットやニーズに即した事業体の再構築を実施します。			環境対応	環境関連機器の売上シェア25%へ。エネルギー関連機器、太陽光発電、エコキュート等の分野において国内トップクラスの取扱いを目指します。	生産 住 建 家 機

3つの戦略テーマ(Strategy)で“イノベーション(新機軸)”を起こし、付加価値力(V)、感動力(I)、専門力(S)、技術力(T)、変化適応力(A)を兼ね備えた企業へ。



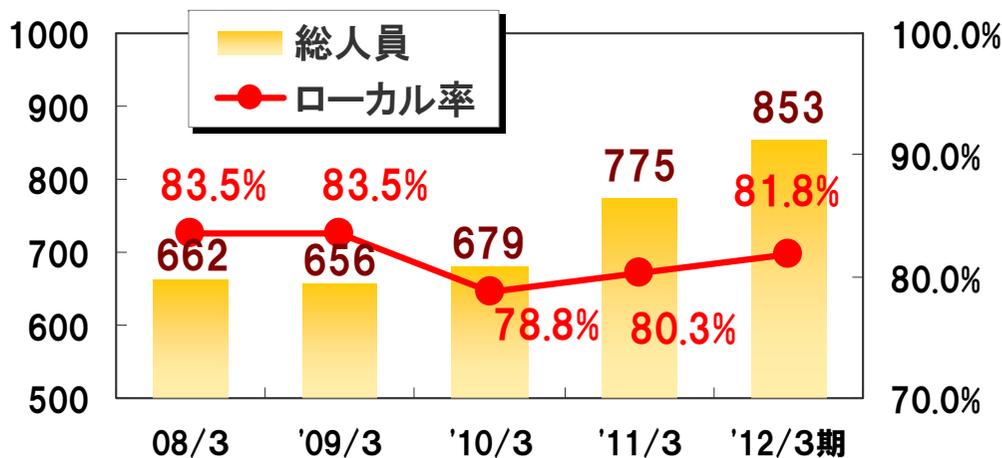


「VISTA-3S」の戦略テーマと進捗①：世界力

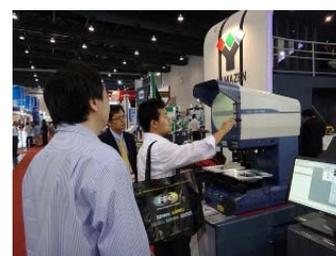
197名

➤ 中国・ASEAN地区でのプレゼンス拡大、エンジニアは197名に拡充。

- ◎ 深圳に台湾出資の創善を、タイにシチズンマシナリーミヤノと共同出資会社をそれぞれ設立。中南米メキシコシティに駐在員事務所を設置。



11月7日の山善株式会社にて



シチズンマシナリーミヤノの創善社長と山善の代表取締役

山善
シチズンマシナリーミヤノと新会社
アセアン市場での販売・サービスを強化
 トータルソリューションを推進

＜タイムトリックス2011＞

山善
メキシコに駐在員事務所
 中南米地区に海外5番目の拠点
 山善国際本部(本部) すると発表した。
 長山本政専務取締役は「同国の営業協力は10月1日、海外5番目、これは日本社が初の首都メキシコシティ法人を、それぞれ駐在員事務所を開設 寄与点を行っている」

が、今後の多様な需要に、別名1名、業務1名、対して、商社拡大を、図っていくためには、各種機械、各種機器、工場の整備など、細かい商品供給や顧客サービス提供が必要。メキシコ市場はN.A.F.T.A.北米自由貿易協定、日本を含む複数のF.T.A.自由貿易協定を、山善直轄の出先(メキシコ)の開設を決定した。山善は、今後とも着々と外需主導で、実を推進が期待される市場として、

第13回
東莞国際模具及金属加工展
 山善Gが36社製品・技術を出品
 11月16日から19日 中国・東莞で開催



＜東莞展示会＞



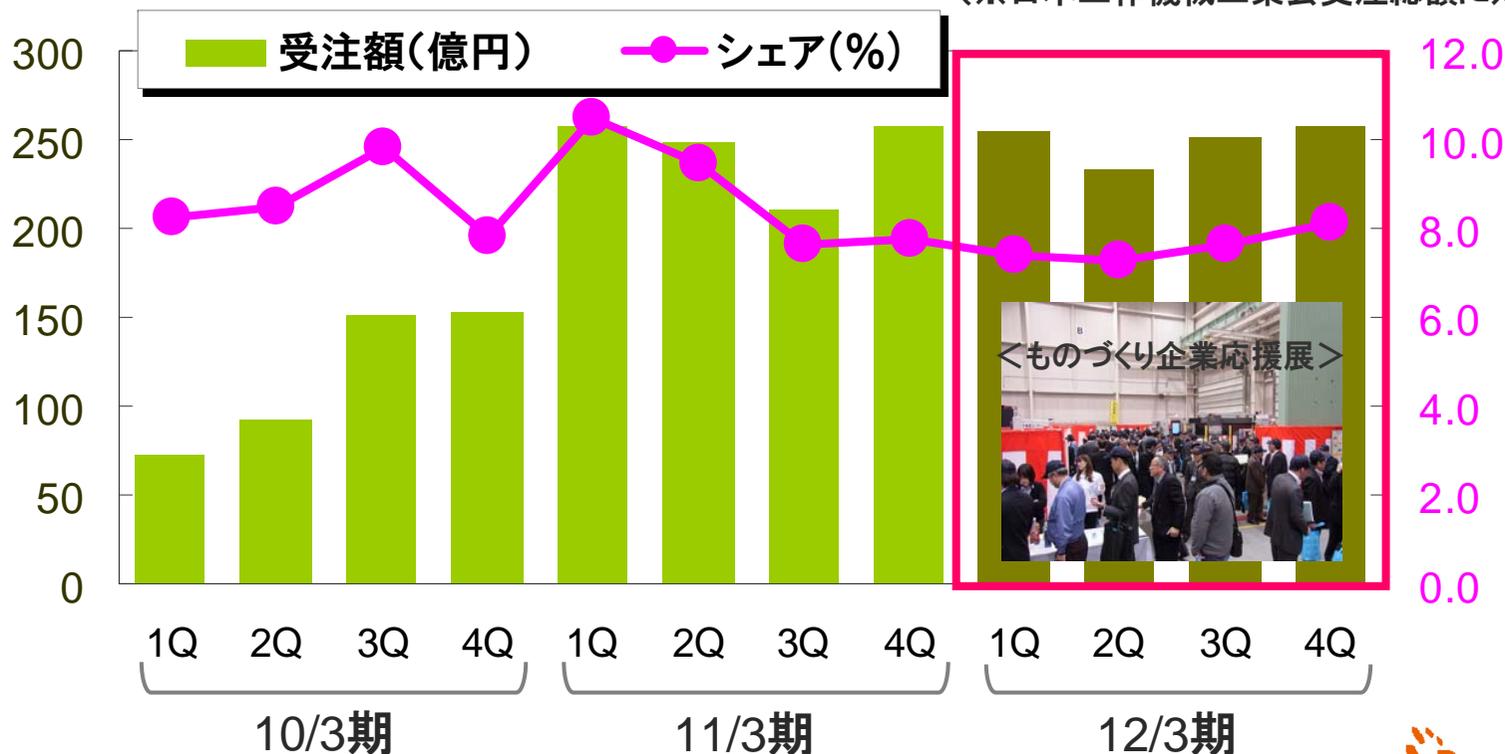
「VISTA-3S」の戦略テーマと進捗②: 専門力/シェア

999億円

➤ 国内外工作機械年間受注額は、999億円／シェア8%※に。

⇒ 切削工具(前年同期比110%)、補要(同113%)などの周辺ジャンルも伸展。

(※日本工作機械工業会受注総額に対する割合)





「VISTA-3S」の戦略テーマと進捗③：専門力/PB

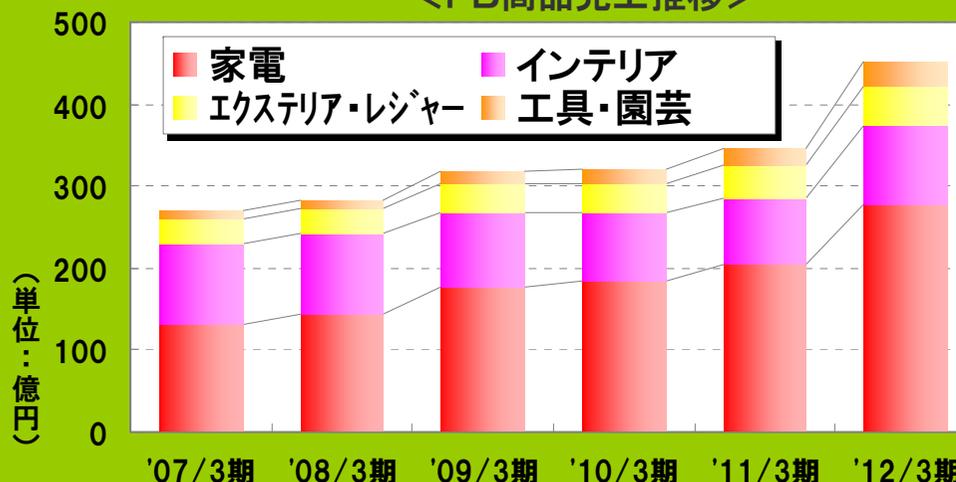
333万台

▶ プライベートブランド商品の売上高は450億円に。

⇒ 扇風機333万台(シェア20%)、こたつ83万台(同25%)、トップシェアへ拡大。



<PB商品売上推移>



地デジチューナー
出荷累計80万台



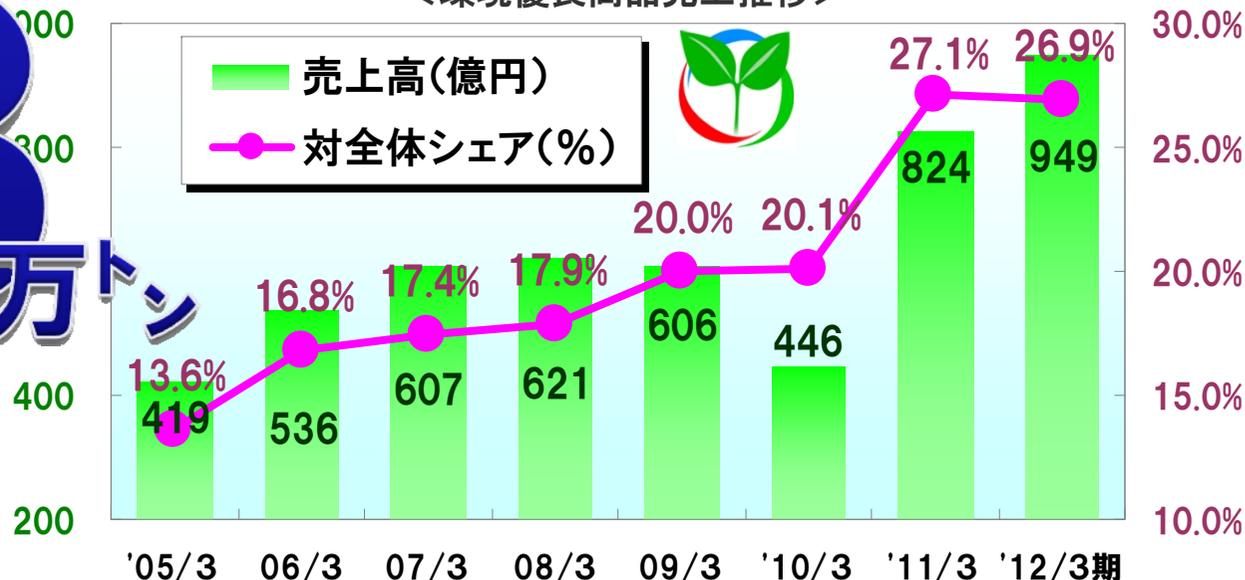
加湿器51万台、ホットカーペット類114万枚



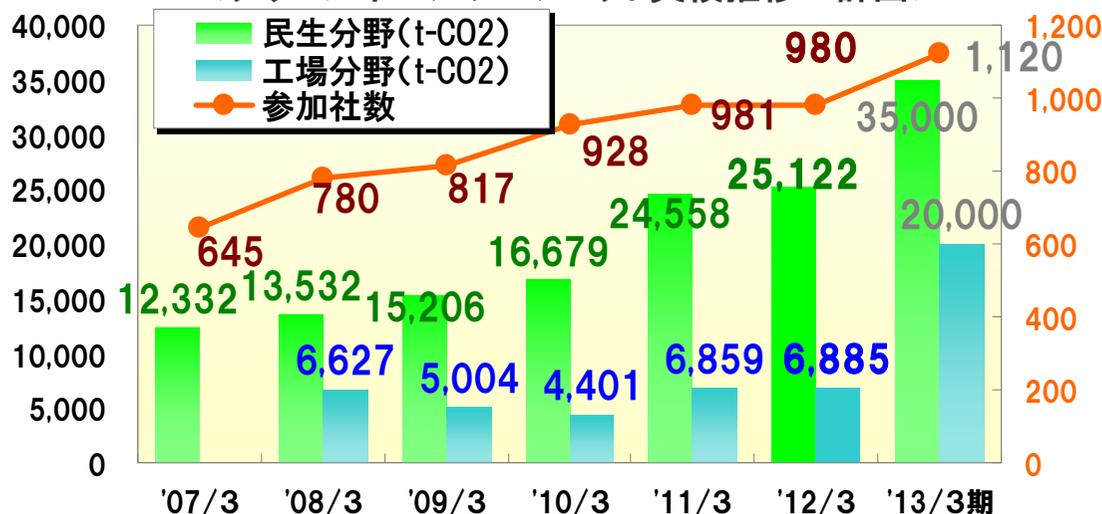
「VISTA-3S」の戦略テーマと進捗④：専門力／環境機器



＜環境優良商品売上推移＞



＜グリーンボールプロジェクト実績推移+計画＞



- 環境優良商品は'13/3期 1,000億円規模へ。
- GBPのCO2削減効果量(累計)は13.7万トンに。
- ⇒ 住宅用太陽光発電システムの累計設置数 2万棟突破！

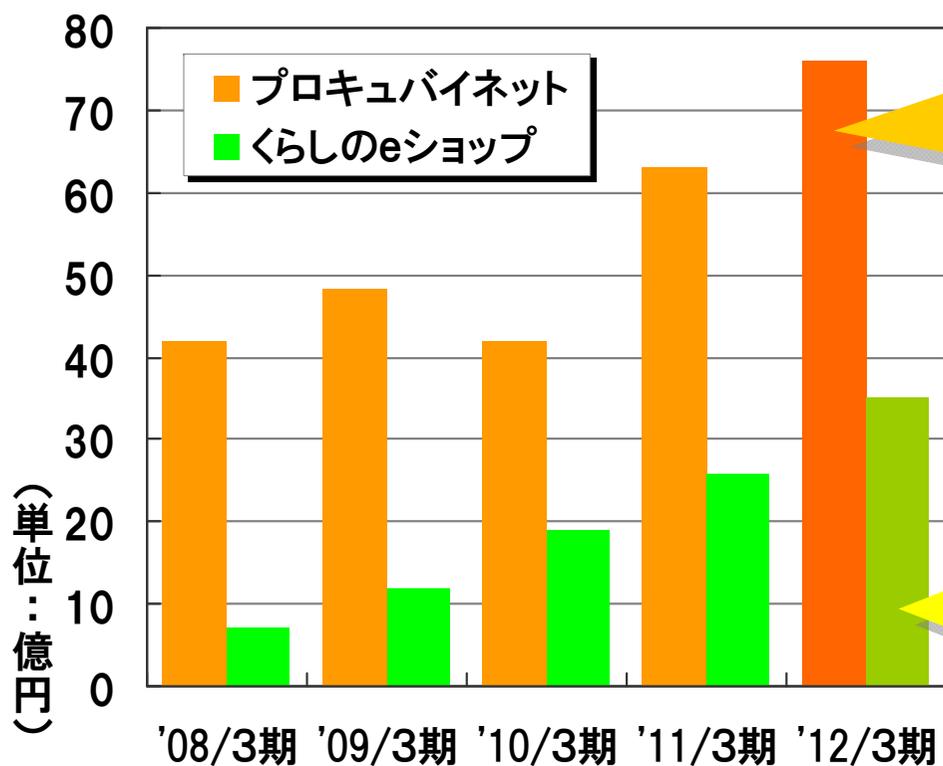




「VISTA-3S」の戦略テーマと進捗⑤: 専門力/ネット取引

110億円

➤ BtoB、BtoCのネット取扱高は110億円に。(※EDI取引を除く)



PbNは、サイトを全面リニューアル

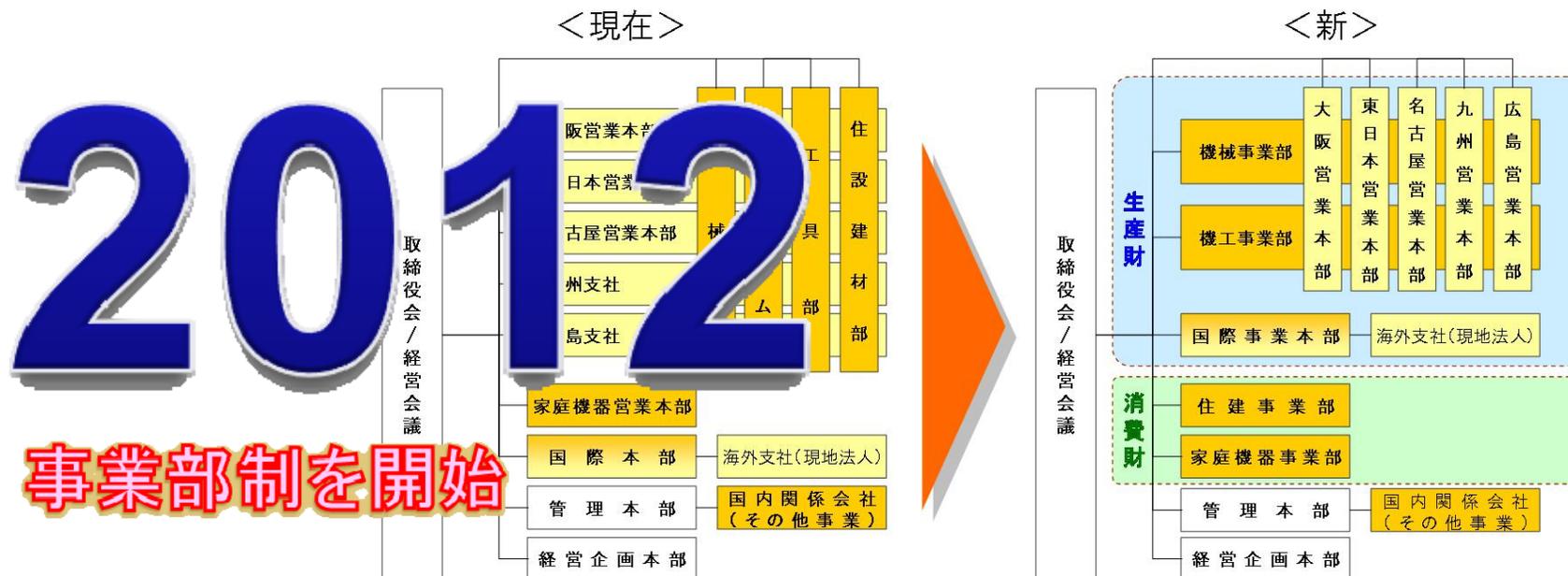


登録社数
1,576社

年間販売数量No1は「ペットシーツPS200R」



「VISTA-3S」の戦略テーマと進捗⑥：組織力





「VISTA-3S」3カ年定量計画(連結)①

3年目計画は
13/3期計画としてリライト

■ 損益計画(公表)

(単位:百万円)	2010年3月期 (実績)	2011年3月期 (実績)	2012年3月期 (実績)	2013年3月期
売上高	241,410	323,703	372,830	(350,000)
営業利益	836	7,415	10,528	(8,500)
経常利益	955	7,623	11,155	(8,500)
当期純利益	438	4,363	4,933	(4,800)

■ 主要財務指標(公表)

(単位:%)	2010年3月期 (実績)	2011年3月期 (実績)	2012年3月期 (実績)	2013年3月期
売上高営業利益率	0.3%	2.3% (初期目標1.1%)	2.8% (初期目標2.2%)	2.5%
総資産営業利益率 (ROA)	0.7%	5.6% (初期目標2.3%)	6.9% (初期目標5.0%)	5.5%
CFマージン率	0.6%	2.6% (初期目標1.0%)	1.3% (初期目標1.7%)	2.5%



「VISTA-3S」3ヵ年定量計画(連結)②

■ 部門別売上高計画

3年目計画は
13/3期計画としてリライト

(単位:百万円、%)	2010年3月期 (第64期)	2011年3月期 (第65期)	2012年3月期 (第66期)	2013年3月期 (第67期)
工 作 機 械 部 門	26,529	39,583	51,495	58,000
産業システム部門	39,754	47,644	53,676	58,000
機 械 工 具 部 門	38,382	48,172	53,835	52,500
(機工事業部)	—	95,816	107,511	110,500
(国内生産財合計)	104,667	135,400	159,006	168,500
住 設 建 材 部 門	47,751	50,645	50,519	57,000
家 庭 機 器 部 門	53,941	60,455	77,104	66,000
(消費財部門合計)	101,692	111,101	127,623	123,000
国 際 営 業 部 門	31,876	73,697	79,950	54,700
(海外生産財合計)	31,875	73,697	79,950	54,700
そ の 他 部 門	3,173	3,504	6,249	3,800
合 計	241,410	323,703	372,830	350,000



「VISTA-3S」3カ年定量計画(連結)③

■ 設備投資計画

(単位:百万円)		2010年3月期 (実績)	2011年3月期 (実績)	2012年3月期 (実績)	2013年3月期 (通期計画)
有形固定資産	新規投資額	302	100	553	760
無形固定資産	新規投資額	959	179	420	300
単 体	小 計	1,261	279	973	1,060
連 結	ベ ー ス	1,300	380	1,226	1,300
有形固定資産	減価償却費	315	310	314	300
無形固定資産	減価償却費	437	492	457	400
単 体	小 計	752	802	771	700
連 結	ベ ー ス	830	900	898	800



Ⅲ. 2012年3月期の業績予想

1. 本年度の事業環境の見通し
2. 2013年3月期(第67期)定量計画
3. 事業部制について
4. 当期の取り組み
5. 事業別計画(連結):まとめ



本年度の事業環境の見通し

	事業セグメント	注視する指標など	市場環境の見通し※
1	生産財事業 －国内	鉱工業生産指数 日工会工作機械受注額 半導体製造装置受注額 自工会統計	外需誘発投資がますます盛んに。幅広い業種で震災前の水準付近まで生産が回復する見込み。一方で電力不足によるコスト増や生産抑制の動きが製造業に影響を及ぼす公算大。 
2	消費財事業 －住設建材	新設住宅着工戸数 キッチンバス出荷統計	住宅着工戸数は持ち直しの基調。リフォーム需要も上向く。創エネ・蓄エネ・節電をキーワードに、復興本格化の動きも加わり、住宅投資・公共投資の寄与度が高まる見通し。 
3	消費財事業 －家庭機器	消費性向 日本DIY協会統計	消費者態度指数は緩やかに上昇、購買マインドも上向く。ただし、雇用・所得環境は依然厳しく、先行きは不透明で好調の持続性への見方は慎重。 
4	生産財事業 －海外	各国鉱工業生産 同景気動向指数 全米機械工業会販売実績 統計 etc.	米国向けの回復が顕著。中国・アジア向けはほぼ横ばい。海外経済の減速や既往円高の影響が重石となり、輸出は当面弱い動きとなる見込み。 

※当社判断に基づく

**Beyond
Expectation**



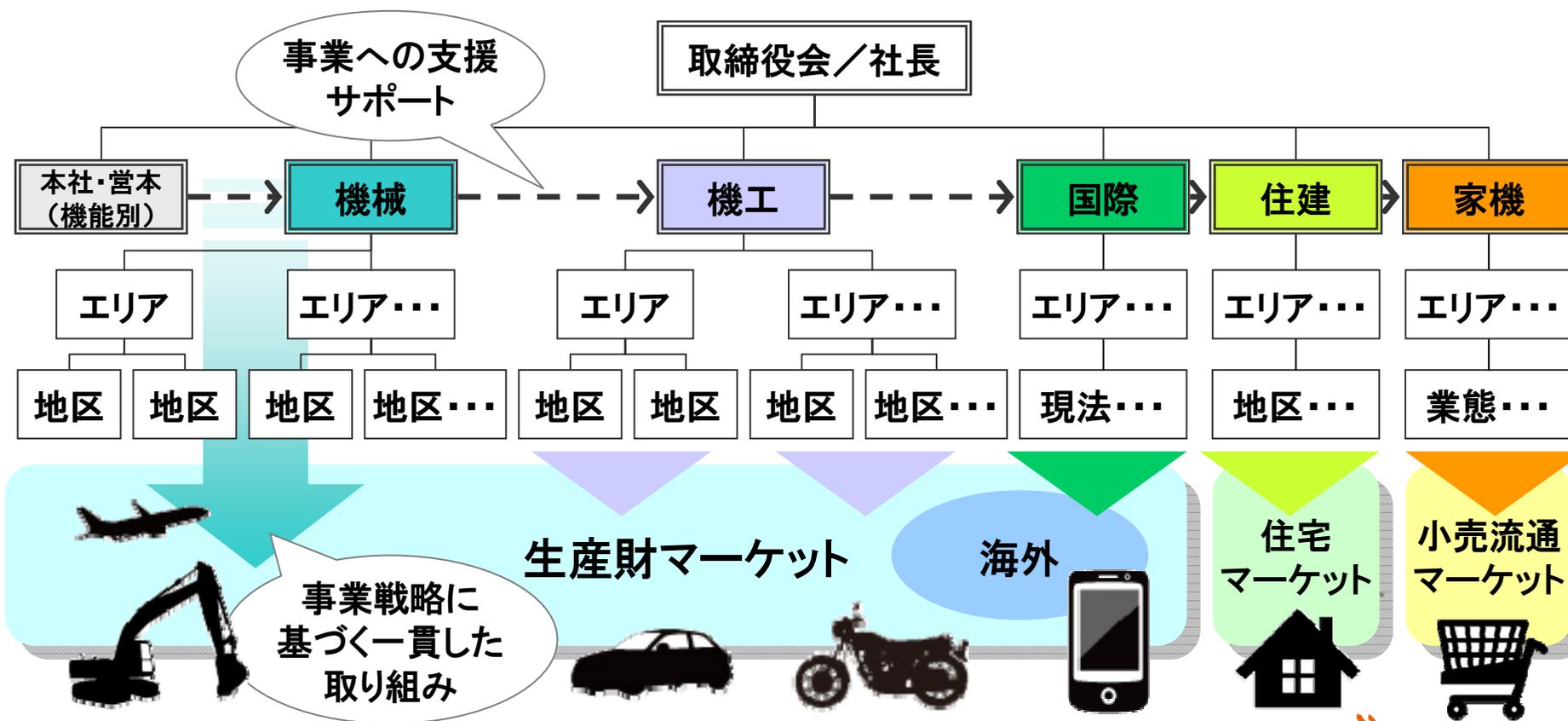
2013年3月期(第67期)定量計画

➤ 売上高・収益とも、前期並みを堅持しつつ、増収増益にチャレンジ！

(単位:百万円)	2012年3月期(第66期)		2013年3月期(第67期)			
	2Q実績	通期実績	2Q計画	増減率%	通期計画	増減率%
売上高	181,012	372,830	186,000	2.8	375,000	0.6
< 単体 >	166,596	344,113	174,000	4.4	350,000	1.7
営業利益	5,376	10,528	5,500	2.3	11,000	4.5
< 単体 >	3,716	7,676	4,300	15.7	8,500	10.7
経常利益	5,575	11,155	5,700	2.2	11,300	1.3
< 単体 >	3,940	8,291	4,500	14.2	8,800	6.1
当期純利益	3,309	4,933	3,350	1.2	6,200	25.7
< 単体 >	2,215	2,988	2,450	10.6	4,800	60.6

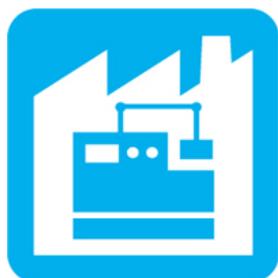
事業部制について

- 市場の急激な変化に、素早く、柔軟に対応する。
 - ⊙ 1つの事業部の中で業務プロセスを完結させる＝現場力と組織力アップ↑
- プロフェッショナルとしての高いスキルと生産性を実現する。
 - ⊙ 本社や営業本部は機能・支援組織として併存＝提案力と企画活動を充実



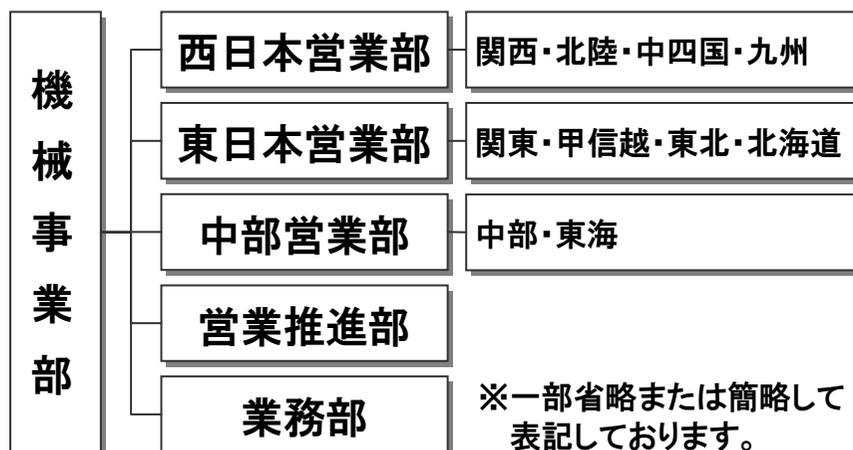


当期の取り組み①:機械事業部



(単位:百万円)	2012年3月期	2013年3月期計画	
売上高	51,495	52,000	増減率 1.0%
営業利益	1,688	1,800	利益率 3.5%

- 主に国内製造業を最終需要者層とする工作機械、鍛圧機械販売を担う事業として、旧・機械部門を継承。



- 「ものづくり企業応援展」などの複数メーカーや製造ノウハウをコラボレーションした企画の実施
→ 高精度・高効率機への需要対応、潜在ニーズの掘り起こしと拡大
- 広域的視野に立った主要拠点の設置とセールス配置で、情報集約・提案力を拡充

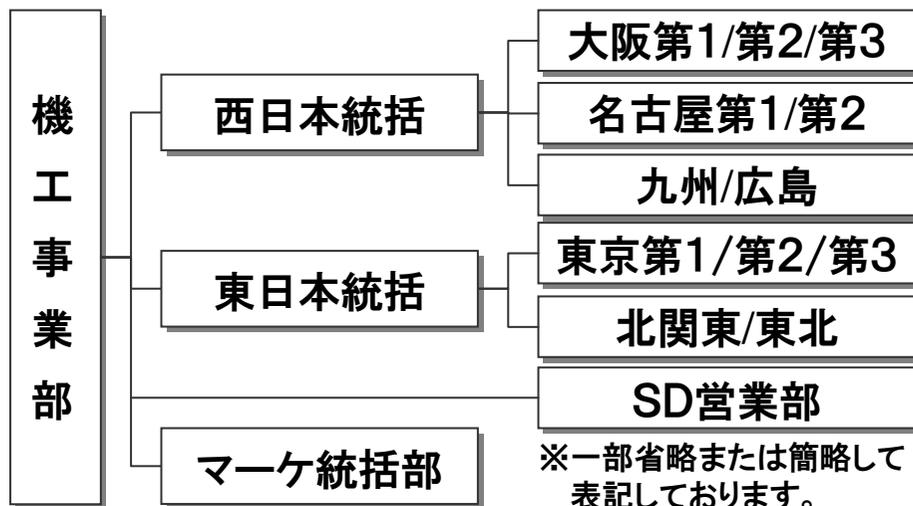


当期の取り組み②: 機工事業部



(単位:百万円)	2012年3月期	2013年3月期計画	
売上高	107,511	108,000	増減率 0.5%
営業利益	2,487	3,100	利益率 2.9%

- 製造業を最終需要者層とする設備周辺機器や消耗品、機械要素部品、工場内物流機器などの販売を担う事業として、旧・産業システム部門と工具部門の継承・統合により新設。



	カテゴリー	'12/3期	'13/3計画
①	マテハン	12,280	13,500
②	メカトロ	15,662	16,000
③	環境改善機器	6,221	6,400
④	切削・補要	20,594	21,000
⑤	測定・計測	5,049	5,200
⑥	流体機器	6,839	7,200
⑦	産業機器	25,641	26,000
⑧	空調設備機器	2,254	2,500
⑨	その他	12,973	10,200

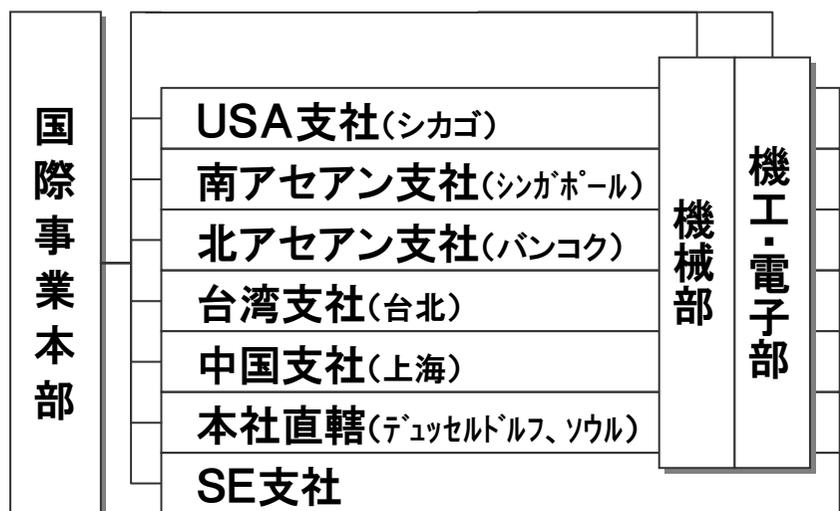


当期の取り組み③: 国際事業本部



(単位:百万円)	2012年3月期	2013年3月期計画	
売上高	79,950	80,000	増減率 0.1%
営業利益	3,919	3,600	利益率 4.5%

- 旧・国際本部の組織と機能を継承し、海外向け生産財(工作機械・機工商品)全般の輸出・販売を担当。海外現地法人・駐在員事務所を管轄。



※一部省略または簡略して表記しております。

- バランス経営の推進
 - ➔ 幅広い業種・業界への販路(セールス)拡大と、サービス(エンジニア)・拠点拡充のバランスのとれた安定感ある現地事業を推進
- 支社(域内)交流を深め、販売戦略の一元化、ボリューム増を図る
 - ➔ 機工分野:切削・測定+メカトロ商品の販売・デリバリー体制を整備

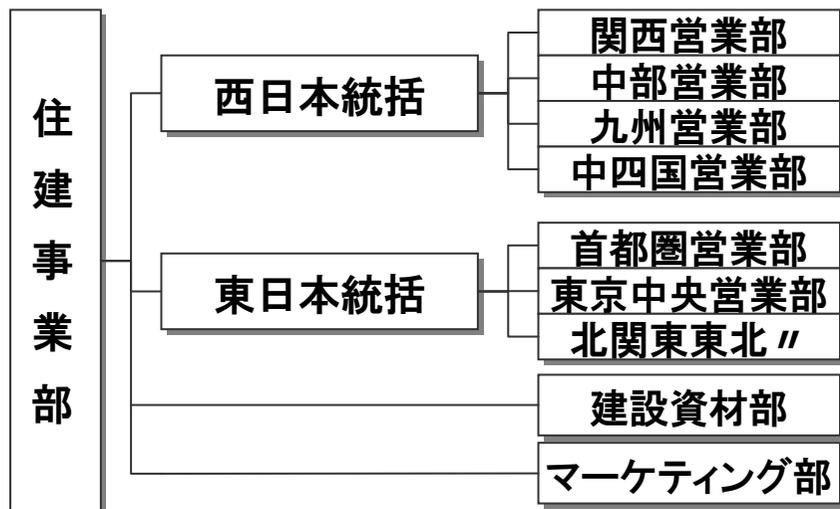


当期の取り組み④：住建事業部



(単位:百万円)	2012年3月期	2013年3月期計画		
売上高	50,519	51,000	増減率	1.0%
営業利益	1,118	1,250	利益率	2.5%

- 建設・建築・設備工事業者等を需要者層とする住設機器や空調機器、建設資材などの材料・工事販売を担う事業として、旧・住設建材部門を継承。



※一部省略または簡略して表記しております。

- 成長分野・市場へのアプローチ強化
 - ➔ 住宅用太陽光100億円へ／産業用太陽光の販売・施工体制を準備
 - ➔ 海外調達&販売の準備チーム設置
- リフォーム分野と高齢者対応住設機器の取扱い拡大を推進
 - ➔ 量販店、ネット販売チャネル開拓
 - ➔ 在宅介護、高齢者配慮住宅用ユニットバス等の販売に着手

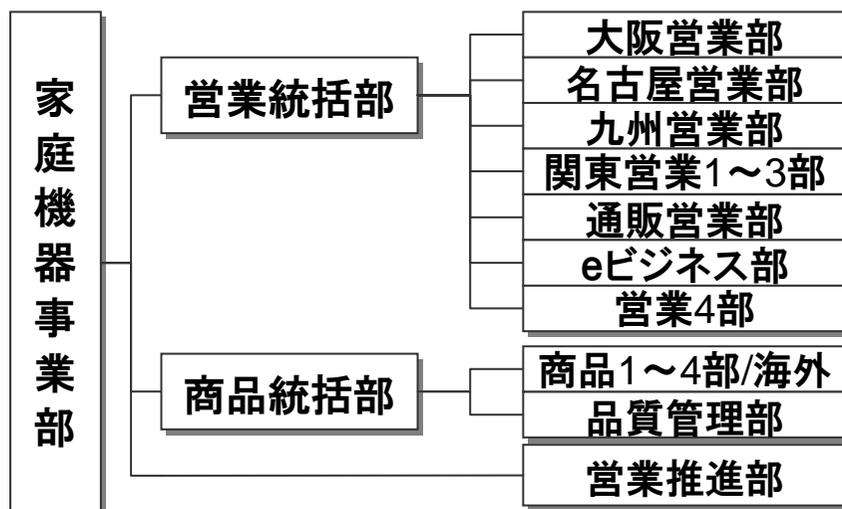


当期の取り組み⑤：家庭機器事業部



(単位:百万円)	2012年3月期	2013年3月期計画		
売上高	77,104	78,000	増減率	1.2%
営業利益	3,570	4,050	利益率	5.2%

- 旧・家庭機器営業本部を名称変更し、一般消費者を最終需要者層とする生活家電やインテリアなどの販売を担う事業として、従来の組織を継承。



※一部省略または簡略して表記しております。

- PB・オリジナル商材の拡充
 - 今シーズン扇風機340万台計画、節電・省エネ・夏向け商材を拡充
 - 消耗・リピート品のラインナップ強化
- ネットビジネスのさらなる拡大、新規チャネルの開拓
 - 暮らしのeショップ50億円へ挑戦
 - ドラッグストア、ペットストアetc. 商品開発と新ルートの開拓を推進



事業部別計画(連結):まとめ

(単位:百万円、%)			2012年3月期	2013年3月期計画			増減率
生	機械事業	売上高	51,495	52,000	構成比	13.9	1.0
		(国内) 営業利益	1,688	1,800	利益率	3.5	6.6
産	機工事業	売上高	107,511	108,000	構成比	28.8	0.5
		(国内) 営業利益	2,487	3,100	利益率	2.9	24.6
財	国際事業	売上高	79,950	80,000	構成比	21.3	0.1
		(海外) 営業利益	3,919	3,600	利益率	4.5	△ 8.1
消	住建事業	売上高	50,519	51,000	構成比	13.6	1.0
		営業利益	1,118	1,250	利益率	2.5	11.8
費	家庭機器事業	売上高	77,104	78,000	構成比	20.8	1.2
		営業利益	3,570	4,050	利益率	5.2	13.4
財	その他・調整	売上高	6,249	6,000	構成比	1.6	△ 4.0
		全社費 営業利益	△ 6,647	△ 2,800	利益率	—	—
合	計	売上高	372,830	375,000	構成比	100.0	0.6
		営業利益	10,528	11,000	利益率	2.9	4.5

IV. 株主還元

1. 株主還元、配当性向について
2. 当期の配当



株主還元、配当性向について

□ 基本的な考え方

- △ 企業体質の一層の充実強化と収益力の向上を図り、株主の皆様へ安定的な配当を基本とした上で、利益水準を考慮し、連結配当性向は25%を目途に利益還元を行います。
- △ 内部留保金につきましては、株主資本の一層の充実を図りつつ、持続的な事業発展の実現に向けて有効な投資に充当し、中長期的な成長による企業価値向上を通じて、株主の皆様のご期待に応えてまいります。

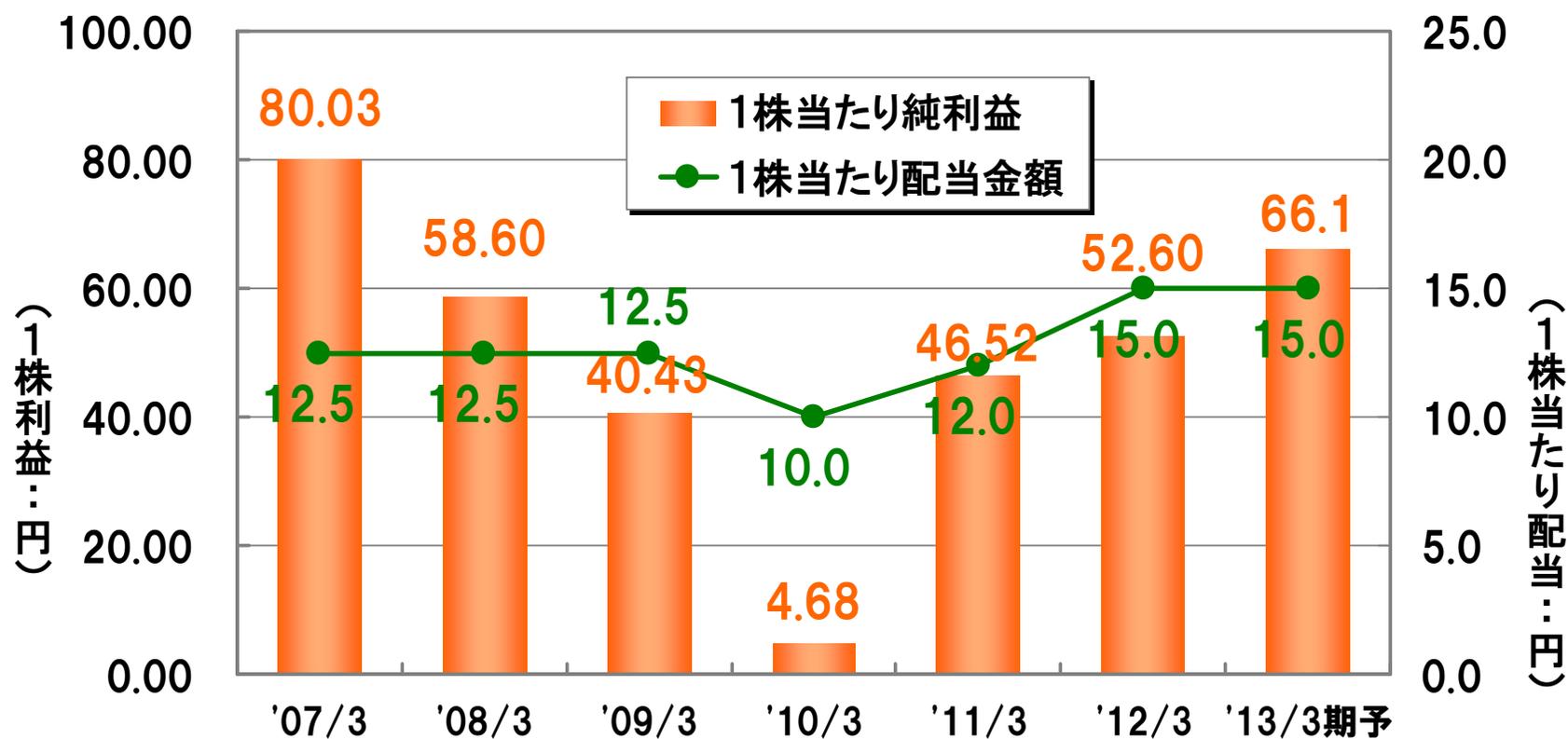
■ 配当金の推移

		'08/3実	'09/3実	'10/3実	'11/3実	'12/3実	'13/3予
連結配当性向		21.3%	30.9%	213.7%	25.8%	28.5%	22.7%
配当金額	中間	5.0円	5.0円	5.0円	5.0円	7.0円	7.0円
	期末	7.5円	7.5円	5.0円	7.0円	8.0円	8.0円



当期の配当

- 連結配当性向:22.7%を予定。
- 配当金額:中間7.0円+期末8.0円=年間15.0円。





この資料には、当社の計画及び業績見通し等が含まれております。将来の計画や予想数値などは、現状の入手可能な情報により、計画・予測したものであります。実際の業績等は、今後の様々な条件・要素によりこの計画等とは異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。